

大観と富士

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年 記念
横山大観 大氣を描く
2016.10.1[土]—11.6[日]

よこ
横
山大観(明治元・1868年～昭和33・1958年)といえは富士一生涯に描いた富士の絵は2000点ともいわれます。本展にも約20点の富士の絵を出品します。明治・大正・昭和の美術界を先導してきた大観は各々の時代において、富士とどう向き合い、描いてきたのでしょうか。

大観が最初に描いた富士の絵は《武蔵野》。明治28年(1895)27歳の時の作品です。萩や薄が茂る秋の野に富士を遠望する構図で、日本の伝統的な画題「武蔵野」として捉えられたものでした。

大観が富士に本格的に取り組んだのは大正に入ってからです。《不盡之高嶺》は大観47歳、雲よりなお高い頂が清々しい夏の富士。「富士は雲煙に包まれた姿が一番いい」とも語っていた大観が描いた理想の富士です。

昭和とくに戦時中、富士山は国威発揚の象徴となり、大観も彩管報国(絵筆をもって国に報いる)の強い思いから、多くの富士の作品を生み出しました。その一つが74歳の作《正気放光》です。宇宙天地の壮大な「気」を宿す富士と深く咲き散る桜の花。清廉潔白な

横山大観《正気放光》昭和17年(1942) 名都美術館蔵



横山大観《不盡之高嶺》大正4年(1915)
平塚市美術館蔵

日本人の精神を表しています。

大観は戦後も富士を描き続けました。激しく渦巻く波間を蹴って、富士を昇る龍が描かれた《或る日の太平洋》は大観84歳の作ですが、ここには、時を超えてなお変わらぬ思いが込められています。

大観にとって「富士を描くことは、つまり己を描くこと」でした。龍の姿は大観自身ともいえ、富士を、自らの求める芸術の頂として描き続けました。そして何より、大観の画家としての自信の源にあったのは「日本人であること」でした。

富士山が世界文化遺産に登録され、日本の富士が世界の富士になった今こそ、大観が美の極みとして、日本人としての誇りを抱きながら描いた富士を、是非ご覧いただきたいと思います。

(学芸グループ主任 河内えり子)



佐野美術館の刀剣 オールスターズ！

佐野美術館創立50周年・
三島市制75周年 記念
名刀は語る 磨きの文化
2016.11.12[土]—2017.2.19[日]

重要文化財《刀 無銘 正宗》鎌倉時代 佐野美術館蔵 [展示期間：11.12～12.23]



やす
安
綱、国行、国光、正宗、長光、虎徹—
創立50周年を記念し、佐野美術館が誇る、平安時代からの約800年の間に造られた名刀の数々をご紹介します。日本刀は鉄からできています。錆びやすい鉄を錆びさせないように、数百年に渡って磨き続けられてきたのが日本刀であり、澄んだ地鉄とキラキラとした沸の輝きは、絶えず手入れをしてきた人々の強い思いの結晶ともいえるでしょう。豊かな肉置きのある曲面に研ぎ上げられた刀姿、多様で繊細な刀文や地文に、日本人は魅了されてきました。

刀剣がいかに美しく輝くかは、刀工が鍛刀した後に研磨を任される研師の腕が大きく影響します。

そして、研師が美しく研上げた刀剣のうち優れたものは、名だたる名門貴族や武将の手に渡り、歴史の一部となりました。

特に刀剣に命を預けて戦場に赴く武士にとって、名刀を持つことは誇りでした。名刀に恥じない己であるよう、常に自らを律していたのです。

そして代々の家宝や、数々の所蔵者の手に亘りながら現在に伝えられた名刀には、様々な逸話が生まれました。例えば飛んできた蜻蛉が真っ二つになってしまうほど

の切れ味を誇ったという本多忠勝の蜻蛉切の槍は、現在も高い人気を誇ります。刀剣は、歴史の証人として魅力を更に増していったのです。

本展では鑑(刀身と柄をつなぐもの)や、漆なども磨きの文化のひとつとしてご紹介します。愛好家の方は勿論、最近刀剣に興味を持ち始めた方にも楽しんで頂ける展覧会です。

(学芸グループ 志田理子)



▶重要文化財
《短刀 無銘 貞宗
[名物 太鼓鐘貞宗]》
鎌倉～南北朝時代 個人蔵

ミュージアムショップ

横山大観記念館
絵はがき 108円(税込)

色紙 2,700円(税込)～

ハンカチ 1,836円(税込)

宮井
印傳風ポーチ 各648円(税込)
印傳のような刺繍を施した、使い勝手の良いポーチです。

刀剣博物館
日刀保たたら 玉鋼 1,500円(税込)

Vixen
マルチモノキュラー(4倍) 8,537円(税込)
刀剣の細部まで見ることが出来る、小型軽量の便利なアイテムです。

和の小物いろいろ新入荷

シビラ
金封袱紗 各2,160円(税込)
落ち着いた色合いで、慶事・弔事どちらでも使える袱紗です

刀剣関連商品は常時販売中!

プレゼントコーナー

※抽選で2名様に「**ア**」マークの品を差し上げます(色・デザインは当方で選びます)。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「佐野美術館に応援メッセージ!」です。
しめきり：2016年11月15日(消印有効)
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。

※「横山大観 大氣を描く」展会期中(10/1～11/6)のみの販売です。